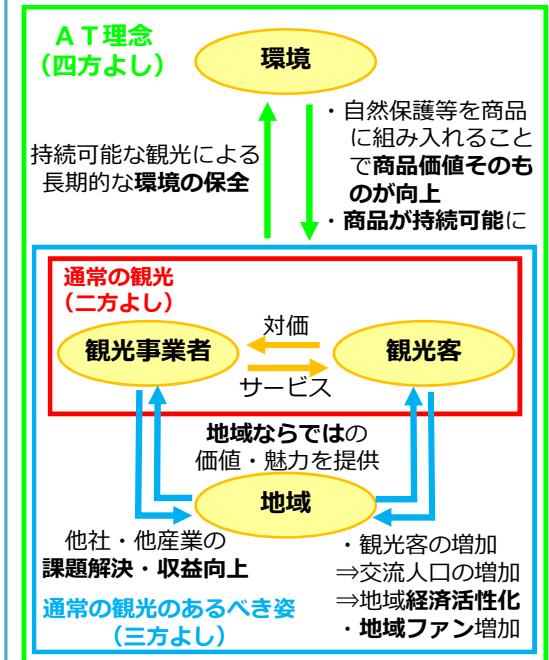


- ① A T 理念 ⇒ 北海道の A T はどうあるべきか <北海道における A T 憲法 = 絶対にブレてはいけない軸>
- ② A T ビジョン ⇒ 北海道の A T はどこに進んでいくべきか <北海道における A T の未来>
- ③ A T 戦略 ⇒ 具体的に、誰が、何を、するのか <北海道 A T 関係者の行動指針>

## A T 理念

**四方よし** (別紙 1 参照)  
⇒ A T を行うことにより、**観光客、観光事業者、地域、環境の全てに利がある状態を実現する**



## A T ビジョン

= P E S T 分析、S W O T 分析により、北海道の A T の現状と理想を整理

**P E S T 分析** (別紙 2 参照)

○分析の目的  
世界の A T 市場が盛り上がりつつある中で**北海道が A T 市場に参入する余地**がある。

○分析手法  
Politics(政治)、Economy(経済)、Society(社会)、Technology(技術)の4つの観点から、北海道の A T をめぐる環境を整理

○結論  
政治的には追い風が来ており、経済的には世界に通用するコンテンツを北海道は保有しており、社会的には A T 旅行者が快適に A T を楽しむことのできる環境が整っているという点から、**北海道が世界の A T 市場に参入できる余地は多分にある**と考えられる

**S W O T 分析** (別紙 3 参照)

○分析の目的  
北海道の A T を **どのように進めていくべきか**

○分析手法  
強み(Strength)、弱み(Weakness)、機会(Opportunity)、脅威(Threat)の4つの観点から、北海道の A T をめぐる環境を整理

○結論  
北海道としては **A T ビジョン**

- ① 北海道内の A T 機運醸成
  - ② A T をバイヤーに売るための体制整備
  - ③ A T 旅行者の C S に関するデータ収集・分析と C S 改善
  - ④ A T の魅力を積極的に P R
  - ⑤ 北海道の A T の差別化
- を行っていく必要がある。

## A T 戦略

= P E S T 分析、S W O T 分析により導出されたビジョンを推進するための具体的な行動指針を整理

**① 北海道内の A T 機運醸成**

- ・道内の A T 関係者が、A T 理念・ビジョンの普及活動をする
- ② A T をバイヤーに売るための体制整備**
- ・国・道・機構・体験協・H A T A は、連携して道内のコーディネーターやガイドを育成する
  - ・コーディネーターは、地域の A T サプライヤーとの交流を深め、顧客の需要に応じた商品を組成する
  - ・市町村・DMO は、コーディネーターの取組を支援する
  - ・ガイドは、専門知識・技術を備え、英会話力、エンターテインメント性を併せ持つ必要がある

**③ A T 旅行者の C S (Customer Satisfaction) に関するデータ収集・分析と C S 改善**

- ・国・道・機構・体験協・H A T A は、A T 旅行者の C S に関するデータを収集・分析し、C S の改善に努める

**④ A T の魅力を積極的に P R** (別紙 4 参照)

- ・A T 関係者は、以下の方針に応じて世界に対し A T の魅力を積極的に発信する

クラスター名	Product	Place	Price	Promotion
精神的満足を求める地域探検家 【従来型ターゲット】	地域への手触り感のある定番コンテンツ	特に店舗を保有する海外の旅行会社にアプローチ	4.0万円/日	Web、インターネットの活用とともに、店舗での接客も有効
向上心溢れる何でも挑戦者 【新規ターゲット】	今までにない体験価値を提供するコンテンツ	ATTAメンバーの旅行会社とコーディネーターが販路を形成	5.1万円/日	あらゆるメディアを満遍なく活用
自然・文化探検家 【新規ターゲット】	自然・文化と同化できる本格コンテンツ	加えて旅行者が直接コーディネーターにコンタクトをとれる環境を整備	4.4万円/日	Web、インターネットの活用とともに、口コミも有効

**⑤ 北海道の A T の差別化** (別紙 5 参照)

- ・A T 関係者は、北海道の差別化戦略を意識し、それを伸ばしていく

**【北海道の差別化戦略】**  
北海道の魅力を構成する、**自然** (大陸にはない変化に富んだ自然)、**文化** (固有のアイヌ文化・縄文文化)、**食** (バラエティに富んだ食事)、**温泉**を、**整備されたインフラ**を活用しつつ、**アクティビティを通じて統合的に体験**してもらう。